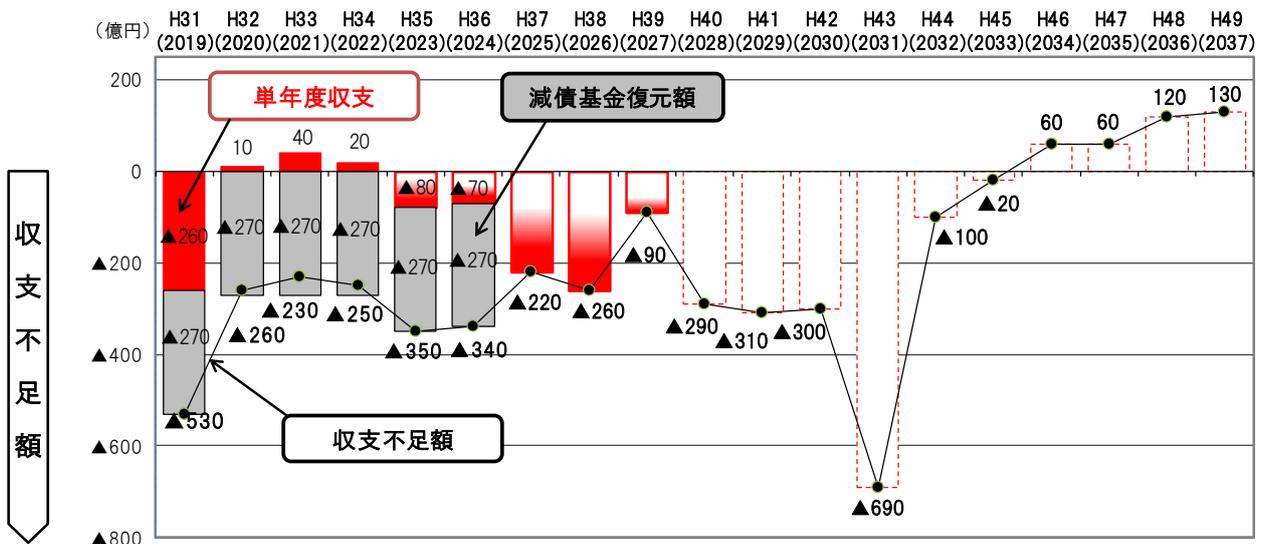


財政状況に関する中長期試算

平成30年度当初予算は、財源対策のために財政調整基金から312億円の取崩しを行い、予算編成しました。減債基金の積立不足額の復元などがあり、今後も多額の収支不足が見込まれています。今後の予算編成過程において、歳入の確保や歳出の見直しなどを進め、それでもなお収支不足額が生じる場合は、財政調整基金を機動的に活用した上で、年度を通じた効果的・効率的な予算執行などにより対応していきます。

【参考】財政状況に関する中長期試算(粗い試算)30年2月版

・減債基金の積立不足額の復元 積立不足額：1,625億円(平成30年度当初後) ※H13～19の間に累計5,202億円を借入れ
 ・財政調整基金 残高見込額：1,117億円(平成30年度末見込) ※積立目標額：1,400億円(平成39年度末)



内閣府試算の経済成長率・長期金利や歳入・歳出の状況など、現時点で見込むことができる条件を前提に推計
 この試算は不確定要素を多く含んでおり、将来に向かって相当の幅をもってみる必要

(注) 平成30年度当初予算を発射台にして、「大阪府財政運営基本条例」に基づいて、財政状況に関して中長期の試算を行ったもの。